

地元の竹で炭作り 松平高生が窯出し

窯から竹炭を取り出す生徒＝豊田市大内町で



豊田市の松平高校の生徒が二十九日、地元の竹で作った炭の窯出し作業をした。竹炭はラッピングして、配布したり交流館で販売したりする。

松平高では里山整備で伐採した竹を有効活用しようとして、十三年前から竹炭づくりを始めた。この日はライ

フコイデネット科一、三年生の計十四人が参加した。

事前に地元の大内町の窯で竹炭を作る「大内竹工房」のメンバーが、伐採した竹を九十センチの長さに切つて縦に四つ割りにし、窯に火を入れて焼き上げた。窯は二週間前に火を消し、熱

を冷ました。生徒たちはヘッドライトをつけて窯の内部に入り、竹炭を取り出して段ボールに詰めた。

窯出しをした三年林龍之介さん(二)は「しゃがんでやる作業なので大変だったけれど、楽しかった。竹炭の出来も完璧」と満足そうに話した。(生津千里)